

二葉中学校区・舟栄中学校区 地域検討会たより

第3回地域検討会(3月15日)の概要報告

今回の検討会では、第2回地域検討会で話し合われた2つの方向と2つの課題について、引き続き検討しましたので、地域の皆様に協議の概要とともにお知らせいたします。

	第3回地域検討会までにまとまった方向
3つの方向	二葉中学校と舟栄中学校を <ul style="list-style-type: none">・平成26年4月(時期)をめどに・2つの中学校を統合し(統合の方向)・現在の舟栄中学校の校舎を使用(統合後の校舎)
残された課題	統合の方法(編入か合併か)

第3回地域検討会の協議概要

まず協議では、第2回地域検討会で残された2つの課題(統合の方法と統合後の校舎)について、地域検討会を構成する10の団体(4コミュニティ協議会、6小中学校保護者)の意見集約の結果について報告がありました。

【校舎】統合後に使用する校舎については、10団体のうち8団体が舟栄中学校のという意見でした。それを受けて協議し、校舎の位置、建築年数などから舟栄中学校を使用することが適当と言う結論を得ました。

【方法】次に統合の方法については、舟栄中への編入を支持した団体が4団体、合併を支持した団体が5団体、1団体は準備期間が1年なら舟栄中へ編入、2年なら合併というものでした。協議では、統合の2つの方法について、委員が各々の考えを出し合いました。

その中では、「どちらの子どもたちとっても新しい気持ちでスタートするために、統合の方法は合併が良い」という意見が出されました。一方で、「編入による統合で、学校や子どもたちの準備にかかる負担を軽減し、子どもたちの交流に時間をかけた方が良い」という意見が出されました。また、「編入にしても合併にしても、どのような学校になって、具体的な利点は何なのかということを出し合って、それを示すことで地域や保護者に理解してもらうことが大切」という意見も出されました。このようなことから、統合の方法について今回の協議では、方向性を出すまでには至りませんでした。

しかし、出席の委員にそれぞれ立場の違いがあるものの、学校の統合問題の解決を長引かせてはならないとの検討会発足からの認識は共通しており、早期の問題解決を目指す意味からも、第4回地域検討会は時間をおかず開催することになりました。



次回、第4回二葉中学校区・舟栄中学校区地域検討会は、3月31日(土)午後6時より二葉コミュニティハウスで行います。(この検討会は、地域の皆様に公開しています。)

問い合わせ先：新潟市教育委員会 教育総務課企画室(二葉中学校区・舟栄中学校区地域検討会事務局)

(TEL:025-226-3178 FAX:025-230-0401 E-mail:somu.ed@city.niigata.lg.jp)

配布資料や協議の概要などは、後日、新潟市のホームページに掲載いたします。